臨時号 2005. 9.10

歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団　事務局　〒206-0013　東京都多摩市桜ヶ丘 4－36－21 APT1・2・3
ホームページ http://homepage3.nifty.com/kokaido/　TEL/FAX 042-389-5534 宮田太郎

9月に入りましたが、相変わらず暑い日が続いています。会員の皆さまにはお変わりありませんか。本年度後半の活動計画については 10 月 1 日発行の会報「歴史ロマン古道ニュース Vol.3」でお知らせしますが、9月 19 日（月・祝）開催予定の講演会について、講師が入院療養されることになり内容を変更したこと、10 月以降の計画を出来るだけ早くお知らせするため臨時号をお届けするものです。皆さんのご参加をお待ちしています。

「さきもりまつり」でお手伝いをしていただける方を募集！

古街道団では、来る 11 月 23 日（水・祝）に「さきもりまつり～万葉防人見返りの峠ウォーキング 2005」を開催します。この日は武蔵国の国府があった府中から多摩丘陵よこやまの道「パノラマ台」まで、当時の推定ルートを実際にたどるウォーキングとパノラマ台での「防人と妻との別れのシーン」を再現します。

ついては、このイベントのボランティアを募っています。お手伝いくださる方は古街道団の学習会やウォーキングのとき、スタッフに声をかけてください。

≪歴史古街道団当面の予定　9月～11 月≫

■2005 年 9 月 19（月・祝）学習会　さきもりまつりシリーズ

テーマ　学習会「語り合おう万葉防人（さきもり）の道と多摩丘陵」

11 月に開催の「さきもりまつり～万葉防人見返りの峠ウォーキング 2005」前の学習会

〔内　容〕1　防人とは何か。万葉歌と防人について（ビデオを若干映写）
2　防人の見返りの峠と古代東海道の謎（宮田団長）
3　万葉集の防人の歌について（調査研究部）
4　意見交換「防人の道と多摩丘陵」

〔お詫び〕先に、学習講演会「口ずさみたくなる万葉秀歌とよこやまの道」と題して、埼玉大学特任教授今野耕作先生に武蔵国周辺の万葉歌と古道をテーマにお話いただく旨、お知らせしましたが先生の入院治療のため上記内容に変更しました。なお、ビデオは先生がこの学習会のために特別に作成して下さった講演です。

〔会　場〕VITA 関戸公民館大会議室

〔時　間〕午後 1 時 30 分～4 時

〔その他〕参加費（資料代）200 円　事前申込み不要　先着 90 人

■2005年9月25日（日）さきもりまつりシリーズ

テーマ　「さきもり（防人）の道はどこか～幻の古代国道を探せ！」

〔多摩市愛宕山の奥州古道〕

〔集　合〕聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前　午前10時

〔内　容〕防人が歩いた幻の古道の推定ルートには大きく分けて二つの道「古代東海道」と「奥州古道」があり、そのうちの一つ奥州古道は比較的のんびりと歩けた官人や貴族の伝路（でんろ。伝え馬の道）で、防人が帰郷の際に使った可能性もあります。足柄峠を経て武蔵国府（府中）を通り東北蝦夷地への伝路を多摩市付近に探ります。

〔コース〕聖蹟桜ヶ丘～有山集落道（関戸渡し場道）～おばけ坂～へっぴり坂～東寺方（自由昼食）～稲荷塚古墳～愛宕神社と愛宕山（古代の烽火台か）～多摩センター駅。

〔その他〕行程約３キロ　小雨決行大雨中止　雨具・昼食持参（体育館ほかに食堂有り）事前申込は不要　参加費＝会員700円　会員は夫婦２人で1,000円　一般は１人1,000円　夫婦２人で1,500円　中学生以下無料

■2005年10月5日（水）　日帰りバスツアー

テーマ　「伊豆国府三島の“さきもりの道”と柿田川の湧水を訪ねて」

（行き先＝静岡県三島市、函南町）

〔集　合〕①永山駅小田急改札前　午前７時　②ＪＲ成瀬駅北口改札前　午前８時

〔内　容〕多摩から足柄峠に駅路（古代東海道）をたどって向かった防人たちは、伊豆の国府で休憩しました。国府は三島大社近と考えられています。国分寺と三島大社の関係、富士の湧水が噴出す美しい柿田川水源地、弥生遺跡や古墳群、平安時代の終わりには若き源頼朝や家臣の北条、比企、田代一族が歩きまわっていた古道や秘史ともいうべき史蹟の数々、文覚僧正ゆかりの寺院など知られざる伊豆半島付け根の魅力を探ります。

〔コース〕永山駅～成瀬駅～東名高速～沼津ＩＣ～三島大社～国分寺跡～昼食～柿田川水源地～函南町柏谷の百穴～源頼朝の経塚「王城山」と天降神社の弥生遺跡～奈古谷の国清寺と文覚僧正の幽閉地～沼津ＩＣ～横浜町田ＩＣ～成瀬駅～永山駅

〔その他〕参加費5,000円　定員28人（先着順）　申込TEX/FAX小島042－337-4291　石井044－988-6011

■2005年10月13日（木）さきもりまつりシリーズ

テーマ　「さきもり・防人の道はどこか～幻の古代東海道を発見？！」

〔小野路別所、なぞの砦跡編〕

〔集　合〕多摩センター駅小田急改札前　午前10時

〔内　容〕遠く北九州へ兵士として赴任していった防人たちがいよいよ多摩丘陵の諏訪・永山の尾根で家族と別れた後、覚悟と不安に涙しつつも越えた山々が今も町田市と多摩市の境の小野路別所にあります。義経の弟、源範頼ゆかりの寺や古道が集まる奇跡の丘“野津田公園”内の推定古代東海道跡やＳ字古道、古戦場跡などを歩きます。

〔コース〕多摩センター駅～路線バスで京王多摩車庫～大軍勢の通った長い谷～別所東光寺と謎の砦跡～別所薬師堂～湯船～五反田～野津田公園上の原（各自弁当昼食）～綾部原～下堤のＳ字古道～三社大権現聖地～軍事戦略鎌倉道～京王多摩車庫～路線バスで多摩センター駅または永山・聖蹟桜ヶ丘駅

〔その他〕行程約５キロ　小雨決行大雨中止　雨具・昼食持参　事前申込不要
参加費＝会員 700 円　会員夫婦は２人で 1,000 円　一般１人 1,000 円　夫婦 1,500 円
中学生以下無料

■2005 年 10 月 23 日（日）さきもりまつりシリーズ

テーマ　「さきもり・防人の道はどこか～古代東海道と七国山」

〔本町田＆山崎編〕

〔集　合〕①多摩センター駅小田急改札前　午前９時 30 分
②小田急鶴川駅北口改札前　午前９時 30 分

〔内　容〕防人の道は小野路から野津田へ向かい、上の原で二つ（座間と原町田各方面）に分かれていたと推定されます。文献資料から奈良時代と平安時代では道が異なっていたのです。その双方の違いを現地にたどり、その痕跡を探します。

〔コース〕①多摩センター駅～路線バスで五反田～野津田上の原
②鶴川駅～路線バスで野津田バス車庫～野津田上の原～鶴見川～七国山～ダリヤ園で弁当昼食～南方の峠～山崎団地境尾根～山崎織部谷戸の痕跡～図師梁田寺～図師バス停（淵野辺、町田、鶴川方面へ）

〔その他〕行程約５キロ　小雨決行大雨中止　雨具・昼食持参　事前申込不要
参加費＝会員 700 円　会員夫婦は２人で 1,000 円　一般１人 1,000 円　夫婦 1,500 円
中学生以下無料

■2005 年 10 月 26 日（水）～28 日（金）２泊３日バスツアー

テーマ　**「紅葉の奥州平泉・源義経北行伝説の道と遠野むかし語りの里」**

（奥州大道編）（行き先＝岩手県平泉・花巻・遠野）

〔集　合〕ＪＲ平泉駅　正午集合（お問合せの方には詳細ご案内）

〔内　容〕ＮＨＫ源義経で人気の平泉から花巻、遠野の秋を楽しみます。義経は実は生き延びて津軽から北海道へ渡ったという北行伝説の道を岩手県内に探り、蝦夷征伐で知られる坂上田村麻呂や八幡太郎、そして蝦夷征討軍の兵士や柵戸（きのへ）といわれる移住民が往来した古道と史蹟、宮沢賢治の故郷や遠野のむかし語りの里、猊鼻渓（げいびけい）では船下りを楽しみます。

〔コース〕ＪＲ平泉～毛越寺～弁慶の墓～北の方と娘の墓～中尊寺金色堂～高館義経堂～柳ノ御所跡～泊（武蔵坊）～えさし藤原の郷（ＮＨＫロケ地）～遠野の弁慶続き石～曲がり家～伝承館～かっぱ淵～泊（花巻温泉）～厳美渓～猊鼻渓の船下り～ＪＲ一関（～東京）

〔主　催〕歴史古街道団　ふむろな倶楽部　ＤＡＮの会の協同主催（講師は古街道団・宮田太郎）

〔旅行手配〕日本産業旅行㈱

〔その他〕参加費 46,800～52,000 円（１室４～２人）　定員 40 人（先着順）
申込 TEL/FAX 小島 042－337-4291　石井 044－988-6011

■2005 年 11 月 3 日（木・祝）さきもりまつりシリーズ

テーマ　講演会「真情の叫び～防人の歌」
講師　今野耕作氏（埼玉大学特任教授、歴史古街道団顧問）

〔内　容〕『万葉集』は 1300 年前に生きた人たちの心の叫びです。そのうそのない心の叫びを歌という表現で記録したのが万葉の世界です。その中から、兵士として徴発され筑紫・壱岐・対馬など北九州の守備に赴く防人とその妻や家族の歌をとりあげ、今野耕作先生にお話をしていただきます。なお、この講演会は「さきもりまつり～万葉防人みかえりの峠ウォーキング 2005」前の学習として行うものです。

〔会　場〕VITA 関戸公民館第 1 学習室

〔時　間〕午後 1 時 30 分

〔その他〕参加費（資料代）700 円　事前申込み不要

■2005 年 11 月 23 日（水・祝）さきもりまつり

テーマ　「さきもりまつり～万葉防人見返りの峠ウォーキング 2005」

〔集　合〕①ロングコース　府中駅南口改札前　午前 9 時 30 分
②ショートコース聖蹟桜ヶ丘駅西口改札前　午前 10 時 30 分

〔内　容〕古代、多くは東国から徴発されて筑紫・壱岐・対馬など北九州へ向かう防人たちは、それぞれ国ごとに国府に集められ防人部領使（さきもりのことりづかい）に引率されて出発して行きました。ここ武蔵国では国府があった府中から、愛しの妻や家族に手（袖）を振りながら隊列を組んで旅立って行きました。やがて多摩川を渡り多摩丘陵の小高い丘の峠では、二度と戻れないかもしれない故郷を目に焼き付けるように振り返りながら別れの叫びをあげたことでしょう。

「さきもりまつり」では、国府府中から多摩丘陵よこやまの道「パノラマ台」まで、当時の推定ルートを実際にたどりるウォーキングとパノラマ台での「防人と妻の別れのシーン」を再現します。夕暮れ時の峠から見る景色の美しさは、時代を超え大きな感動となって見えてくることでしょう。

〔コース〕①②どちらのコースも 11 時 45 分頃に大栗橋で合流～連光寺の大坂から高西寺～打越山古道遺跡～馬引沢～諏訪境～防人の丘メイン会場（多摩市陸上競技場近くの弓の橋たもと）～多摩よこやまの道～パノラマ台（防人見返りの峠）　最寄駅京王永山、若葉台

〔その他〕行程①約６キロ②約３キロ　小雨決行大雨中止　雨具・昼食持参　事前申込不要
参加費＝１人 500 円（資料・缶バッジ代）　中学生以下 100 円（缶バッジ代）